

## ご あ い さ つ

朝霞市立朝霞第七小学校長 嶋 徹

令和4年度は、746人、24学級（たんぽぽ学級2学級を含む）でスタートいたしました。これまでの伝統を引き継ぐとともに、人事異動により着任した教職員の新しい風を入れて、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて開校51年目の教育活動を展開してまいります。

目指す学校像は、「**生き生き学び高め合う学校 一人一人の良さを伸ばす元気な学校**」です。学校教育の中核は言うまでもなく授業です。各教科の特性を活かして、授業で「人づくり」を行い、児童の特性や能力を高めます。45分1本勝負、日々の授業では『楽しい授業』『わかる・できる・刺激』をキーワードに、授業を構築し、学力の定着と向上に努めます。

また、学級・学年での活動や学校行事、児童会活動などを計画的に設定し、個々の特性や能力、あいさつや協調性など社会生活に必要な資質の育成にも努め、知徳体をバランス良く育成してまいります。

子供たちの健全な成長には、子供たちを取り巻く家庭・地域・学校の連携が不可欠です。本校は令和3年度より朝霞市教育委員会からコミュニティ・スクールの指定を受けています。「地域とともにある学校」を実現できるよう、学校運営協議会での熟議を学校経営に活かして教育活動の充実に努めてまいります。さらに、父母と先生の会、学校応援団、町内会・自治会など関係機関等との連携を深めて、児童の心身ともに健やかな成長に力を注いでまいります。

本校の教育活動に皆様の深いご理解とご協力をお願いいたします。